

発行 宮城県こもれびの森 森林科学館  
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330  
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



## イベント報告 -ウッドランドクラブ5月-

### ～山野草観察と石窯でピザを焼いてみよう!!～

5月のウッドランドクラブは、山野草の観察とピザ作りがテーマです。22日(日)は五月晴れのもと、自然を楽しむことができ、ピザもおいしくできました。

一松山での山野草観察では、この時期に開花する「コンロンソウ」や「チゴヨリ」などの野草や、「タニウツギ」などの花を楽しみました。また、山菜の宝庫である花山も発見しました。サンプルとして採取した野草を当てるクイズも盛況でした。



<これは何かしら・・・??>

中には「ドクゼリ」などの強烈な有毒植物もあり、講師の先生の説明に熱心に聞き入っていました。

ピザ作りは、思い思いにトッピングして最後にチーズをのせて準備完了です。

あとは、3時間前から火を入れた窯に入れるだけです。3分程で焼きあがったピザはおいしくいただきました。お代わりの列もできましたよ。

熱い窯でピザ作りに頑張っていただいたサポーターの皆様へ感謝いたします。



<お好みのトッピングで～す>

## こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで  
専属ことりカメラマン(?)  
の大友さんのコーナーです

### “ヤマガラ若鳥”

巣立後2週間、巣の近くで4羽見つけました。色も薄く、羽も未成熟です。ヤマガラの子育て中巣の近くにきた鳥を紹介しつづけます。クロツグミがつがいでエサ取りに夢中です。

溪流沿いに声が響きます。キビタキです。きれいです。観察中の緊張を解いてくれました。コゲラが木をつついていきます。食欲旺盛です。(大友)



<①ヤマガラ若鳥>



<②クロツグミ(オス)>



<③キビタキ(オス)>



<④コゲラ>

## ミツケ! こもれびの森

### こもれびの森でみつけたよ

山のことなら何でもプロ級、サポーターの(は)さんのコーナー

### “されどクマケムシ”

今年も4、5匹ほど殺めてしまった。道路をモコモコと早足に横断する毛虫である。通称「クマケムシ」。和名はヒトリカ。単独行動をするから一人蛾と思いきや「火取蛾」と書く。蛾の習性で火の周りを飛びながら火中に飛び込むところからきている。この虫の幼虫時代は動き回っては車に轢かれ、成虫になれば「飛んで火にいる夏の虫」と化す、なんとも哀れな虫である。

しかし、幼虫時は身の危険を感じるとひっくり返って死んだふりをする。成虫は、羽の紋様が天敵に対する警戒色となって難を逃れる術を持っている。たかが小さな虫であるが、クマケムシの生き様は実に面白い。忙しい世の中、クマケムシが道路を横断するまで待つ余裕が欲しいものである。(は)



<①「幼虫」>



<②「成虫」>

## まめちしぎコーナー “花や木などのチョットした知識”

### ～花の名前・・・「スイカズラ」(スイカズラ科)～

花や植物の名前を何度聞いても、忘れてしまうという話をよく耳にします。そんな時には、漢字を当てはめて覚えてみてはいかがでしょうか。例えば、道端のフェンスなどに絡みついている「スイカズラ」は、漢字で「吸葛」と書きます。

強い香りのする花を口にくわえて吸うと、甘い蜜が出てきます。「葛」はツル性植物の意味です。つまり、「吸葛」とは花の蜜を吸うツル植物、という意味になります。また、花色が白色から黄色に変わることから「金銀花」とも呼ばれます。このように覚えておくと、二度と忘れることはないでしょう。

ある有名な小説家が若い頃に、あなたは「野に咲くスイカズラ」のようだ、ラブレターに書いたら、受け取った彼女がブンブン怒ったという話があります。どうやら彼女は、顔が「スイカ」のようにまん丸であるという意味の「西瓜面」(スイカ・ズラ)と受け取り解釈したようです。

彼女も、花の名前を正しく知っていたなら、そのうち有名になる小説家からのラブレターに不愉快な思いをしなくて済んだように思うのですが・・・。(千葉)



<スイカズラ:花>



<スイカズラ:果実>

## 科学館情報

### 行き止まりデス!!

森林科学館前の県道249号(岩入一迫線)は、昨年9月の豪雨被害により当館の前で通行止めとなっています。ここで折り返す車が多い中で、ふと見たら何かあると入館されるお客様も多く、新たな出会いもあります。管轄する県の栗原土木事務所のお話では、復旧は時間がかかるということです。自然あふれる花山の奥に通じる道路がいち早く開通することを願っております。

<ゲートが閉じられている県道>

